

## 第4回理事会(臨時) 議事概要

- 1 開催日時 令和3年7月8日(木) 16時00分～18時00分
- 2 開催場所 Japan Sport Olympic Square 14階 岸清一メモリアルルーム(東京都・新宿区)  
次の理事は、Web会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により参加した。

伊藤 雅俊 澤野 大地 鈴木 大地  
高橋 尚子 田口 亜希 土肥 美智子  
(田嶋 美智子)  
水鳥 寿思 渡辺 守成

- 3 出席者 理事総数 30名  
出席理事 30名(代表理事を含む。)

会長	山下 泰裕	副会長	三屋 裕子
専務理事	星野 一朗		
常務理事	靱井 圭子	常務理事	尾 縣 貢
常務理事	小谷 実可子	常務理事	北野 貴裕
常務理事	酒井 邦彦	常務理事	横井 裕
常務理事	細倉 浩司		
理事	伊東 秀仁	理事	伊藤 雅俊
理事	岩渕 健輔	理事	岡本 友章
理事	栗原 美津枝	理事	澤野 大地
理事	杉山 文野	理事	鈴木 大地
理事	須藤 実和	理事	高橋 尚子
理事	高橋 成美	理事	田口 亜希
理事	谷本 歩実	理事	土肥 美智子
理事	原田 雅彦	理事	古谷 利彦
理事	水鳥 寿思	理事	宮本 ともみ
理事	八木 由里	理事	渡辺 守成

監事数 3名

出席監事 有竹 隆佐、飯坂 紳治、塗師 純子

### 4 議事の経過の要領及びその結果

冒頭山下会長より挨拶があった。東京2020大会まであと2週間程度となる。7月5日にオリンピック実施競技の加盟団体(NF)会長会議を開催し、35団体のうち29団体が参加した。7月18日には日本代表選手団の本隊が選手村に入村する。大会後には、東京2020ゴール&アクションの成果を確認し、中期計画の策定を進めていく。

#### (1)第1号議案 アスリート委員会選出委員、選挙管理委員長、委員の選任について

- ・アスリート委員会はアジェンダ2020に基づくガイドラインに準拠し設置し、既に2回の選挙により、夏季大会6名、冬季大会2名の委員を選出した。
- ・東京2020大会終了後に、新たな夏季大会選出委員(6名)を決定する選挙を実施するために選挙管理委員会を設置する必要がある。
- ・アスリート委員会選出委員選挙規則第4条第3項により、酒井邦彦常務理事を選挙管理委員長に、上村愛子氏(アスリート代表)、大山貴俊氏(弁護士)を委員に推薦する。
- ・任期は、本日から令和5年度定時評議員会の終結の時までとする。

【決議内容】

- ・アスリート委員会選出委員選挙管理委員長 酒井邦彦  
委員 上村愛子  
委員 大山貴俊
- ・任期は本日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで

(2)第2号議案 名誉委員の推薦について

- ・名誉委員の委嘱に関する内規より、本会役員を定年により退任した役員2名を提案する。

【決議内容】

- ・名誉委員 野端啓夫氏、南和文氏

【主な意見等】

- ・定年で退任の理事が2名だけなのかもしれないもしくは2名以上いる中から任命するのか確認したい、という質問に対し、今回退任された役員のうち定年での退任は2名のみとの回答があった。

(3)第3号議案 中期計画柱立てについて

- ・これまで中期計画を策定していなかったが、令和元年第7回理事会(2019年11月20日開催)において、中期計画策定について承認、その後、事務局で作業を開始し、2021年度から2024年度までの4カ年を第1次とし、4カ年ごとに策定することとした。
- ・しかし、東京2020大会1年延期により、東京2020大会に向けたアクションプランであるJOC GOAL&ACTION FOR TOKYO2020の各目標を大会後に検証しつつ、中期計画を策定する必要があるため、2022年度から2024年度の3カ年計画にすることとし、第2次以降は4カ年計画とすることも既に理事会で承認済み。
- ・本日は、本会のありたい姿を示すビジョンと第1次中期計画の柱立てについて審議いただきたい。
- ・中期計画については、「憧れられるアスリートの育成」を中心に、5つの柱(「オリンピックの価値発信」、「JOC組織力・基盤強化」、「アスリートの育成・支援」、「NFとの連携・支援」、「国際交流の推進」)で取りまとめることとしている。

【決議内容】

- ・ビジョン及び中期計画柱立てに基づき中期計画を策定する。

(4)第4号議案 東京2020D&Iアクションについて

本会の宣言内容は、本日の意見を踏まえて業務執行理事が作成し、宣言前に報告する。

9 報告事項

(1)国際総合競技大会関係について

1)第32回オリンピック競技大会(2020/東京)について

東京2020大会日本代表選手団について報告。日本代表選手582名、役員476名の計1,058名で編成したこと、主将山縣亮太(陸上競技)、副主将石川佳純(卓球競技)、旗手は八村塁(バスケットボール競技)、須崎優衣(レスリング競技)の2名に決定した。

2)第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)におけるオリンピック憲章第40条の対応について

第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)におけるオリンピック憲章第40条の対応について報告。東京2020大会での第40条への対応について、ガイドラインの一部緩和に伴い、アスリート委員会、マーケティング委員会、東京2020大会組織委員会及び電通(専任代理店)によるワーキンググループを立ち上げ、JOCパートナーにも最大限配慮するためにアンブッシュマーケティングの対応を強化する一方、大会参加者個人の権利も最大限尊重するバランスの取れた施策が必要と結論のもと国内対応方針を策定してきた。

今回、北京 2022 冬季大会でのルール 40 の内容について、IOC の方針は、東京 2020 大会を踏襲した方針であったことから、同様の国内対応方針とする。大会参加者の個人スポンサー及び所属先による従来から実施している広告、つまりオリンピックを想起させないジェネリック広告は、事前申請による確認で、規制期間中も許諾する。なお、お祝いメッセージ広告は、個人スポンサー等による実施は認めないこととしている。

肖像使用申請について、申請締切期日を対応毎(確認書の提出、広告・宣伝内容の事前申請、実施報告)に設け、執り進めていく。

### (3)東京 2020 オリンピック・パラリンピック関係について

去る 6 月 21 日に発信した観客数の上限に関する共同ステートメント及びプレイブック第 3 版(6 月 15 日発信)について報告した。

### (4)その他

- ・ 去る 7 月 7 日に開催された「東京大会に向けたサイバーセキュリティに関する連絡会」の報告及び本会諸活動に関する追加の配布資料の説明を実施した。
- ・ 次回は 8 月 18 日(水)15 時より役員懇談会を開催する。

以上